

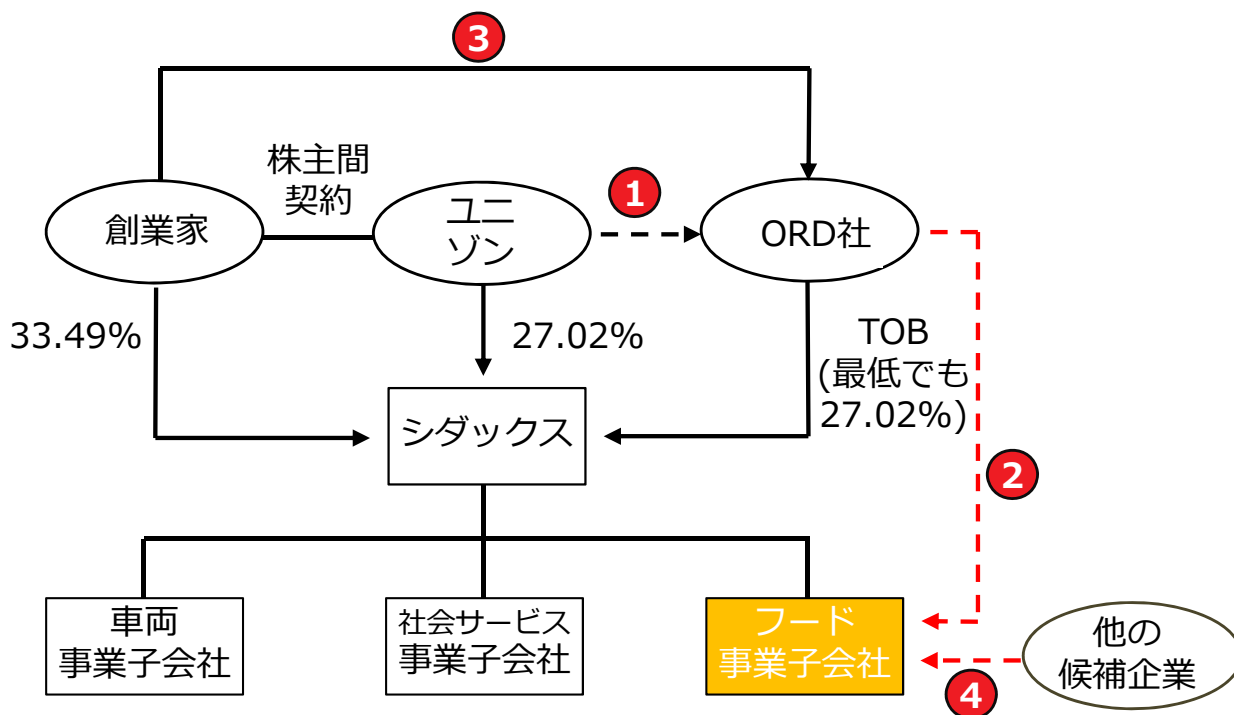
**「オイシックス・ラ・大地株式会社による
当社株式に対する公開買付けに関する
意見表明(中立)についてのお知らせ」
要約版**

シダックス株式会社
2022年10月7日

本公開買付けと当社の状況

ORD社*は本公開買付けにより、27%超の持ち分を得たうえで、当社フード関連事業の普通株式を取得し、給食事業への参入を検討しているとのことです。一方で当社としてはフード関連事業の協業先については複数の選択肢があり、全く白紙の状態です

スキーム概観



ポイント

- 1 ORD社はTOBにより当社普通株式を取得**
創業家-ユニゾン間の株主間契約に基づき、創業家から「買取り者」としての指定を受け、ORD社は、本公開買付けにより、**ユニゾンが持つ27.02%の普通株式の取得を目指す**(創業家とあわせて6割超の議決権を得る)
- 2 ORD社は当社フード関連事業の株式取得を検討**
ORD社は本公開買付け後、**当社フード関連事業の普通株式を取得し、給食事業への参入を検討しているとのこと****
- 3 創業家はORDに努力義務を負う**
創業家は、ORD社と結んだ覚書により、ORD社と当社フード関連事業の業務提携実現に対して**努力義務を負う**
- 4 当社フード関連事業には幅広い選択肢が存在**
一方で当社としてはフード関連事業の協業先については複数の選択肢があり、**どことも協業しないことも含めて、全くの白紙の状態**

* オイシックス・ラ・大地株式会社

** ORD社による本公開買付け届出書第1の3(2)③「本公開買付け後の経営方針」によれば、「公開買付け者としては、当該業務提携の一環として、対象者グループのうち、フード関連事業を担うシダックスフードサービス株式会社、シダックスコントラクトフードサービス株式会社及びエス・ロジックス株式会社の発行する普通株式を対象者より取得し、給食事業への参入を行うことも含めて、公開買付け者が行う各種事業とのシナジーを創出することを検討しており、かかる方法の実現可能性や株式の取得割合、価格等の条件その他協業の在り方についても今後対象者との間で協議のうえ決定する予定です」とある

本公開買付けに反対した理由

本公開買付けにより、ORD・創業家合計で6割超の議決権を握れば、公正な検討が行われないうまま、フード事業のORD社への譲渡が決議出来てしまう状態になり、一般株主の利益を棄損する可能性があるため、取締役会は「反対」の意見表明を行いました

- **本公開買付けが成立した場合、フード関連事業の協業に係る公正な検討が妨げられ、本来得られるはずであった利益を当社が失う結果となるおそれがあること(反対理由①)**
 - ORD社による本公開買付けはフード事業子会社の取得も視野
 - 当社のフード事業には独立・協業相手さまざまな選択肢があるなか、決定には慎重な検討が必要
 - ORD社・創業家あわせて6割の議決権を確保すれば、両者主導でフード譲渡が可能
- **本公開買付けは株主の皆様の利益を害するおそれがあること(反対理由②)**
 - 協業の方向性が具体化していない現時点で応募すれば、株主の潜在的利益が害される恐れがある
 - TOB価格は、直近の当社株式の市場価格からディスカウントされている

 「反対」する理由は上記であって、現時点で当社がORD社をフード関連事業の提携先として不適切であると判断しているものではない

ORD社以外の候補先との比較検討も必要になるため、仮に候補企業の1社が提案を撤回しても、反対意見に影響しない

当社取締役会構成と会社意見決議

反対意見の取締役会決議は、特別利害関係取締役にあたる創業家の志太勤一氏・志太勤氏、ユニゾン・キャピタルの川崎達生氏を除く、3名の取締役の全会一致でした

- … 「特別利害関係取締役にあたるため決議に参加せず」
- … 「決議に参加」

社内/社外	取締役氏名	略歴等
社内	■ 志太 勤一	2012年6月 代表取締役会長兼社長 ○重要な兼職 シダックスコントラクトフードサービス代表取締役会長 志太ホールディングス株式会社取締役、公益社団法人日本給食サービス協会理事
	■ 志太 勤	2012年6月 代表取締役最高顧問 ○重要な兼職 志太ホールディングス株式会社代表取締役
	■ 柴山 慎一	2022年4月 取締役専務執行役員兼HQ管掌兼グループ人事本部長兼広報室、品質管理室、総合研究所担当 ○重要な兼職 ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社取締役（独立社外役員）他1有
社外	■ 川井 真	2016年6月 社外取締役 ○重要な兼職 多摩大学大学院経営情報学研究科客員教授 明治大学自動運転社会総合研究所所長代行・地方創生部門長 他1有
	■ 川崎 達生	2019年7月 社外取締役 ○重要な兼職 ユニゾン・キャピタル株式会社代表取締役
	■ 堀 雅寿	2021年6月 社外取締役 ○重要な兼職 株式会社コメダホールディングス社外取締役監査等委員 横浜ゴム株式会社社外取締役

フード関連事業の協業方針の論点

当初の反対意見表明後、当社取締役会は、創業家・ORD社との間で、「反対」の理由となっていた「フード関連事業の協業方針についての公正な検討」を担保するための枠組みについての協議を開始しました

「公正な検討のための枠組み」が必要となるフード関連事業の協業に係わる論点

フード関連事業の協業に係わる論点

(i) いずれの候補先とフード関連事業の協業を進めるべきか

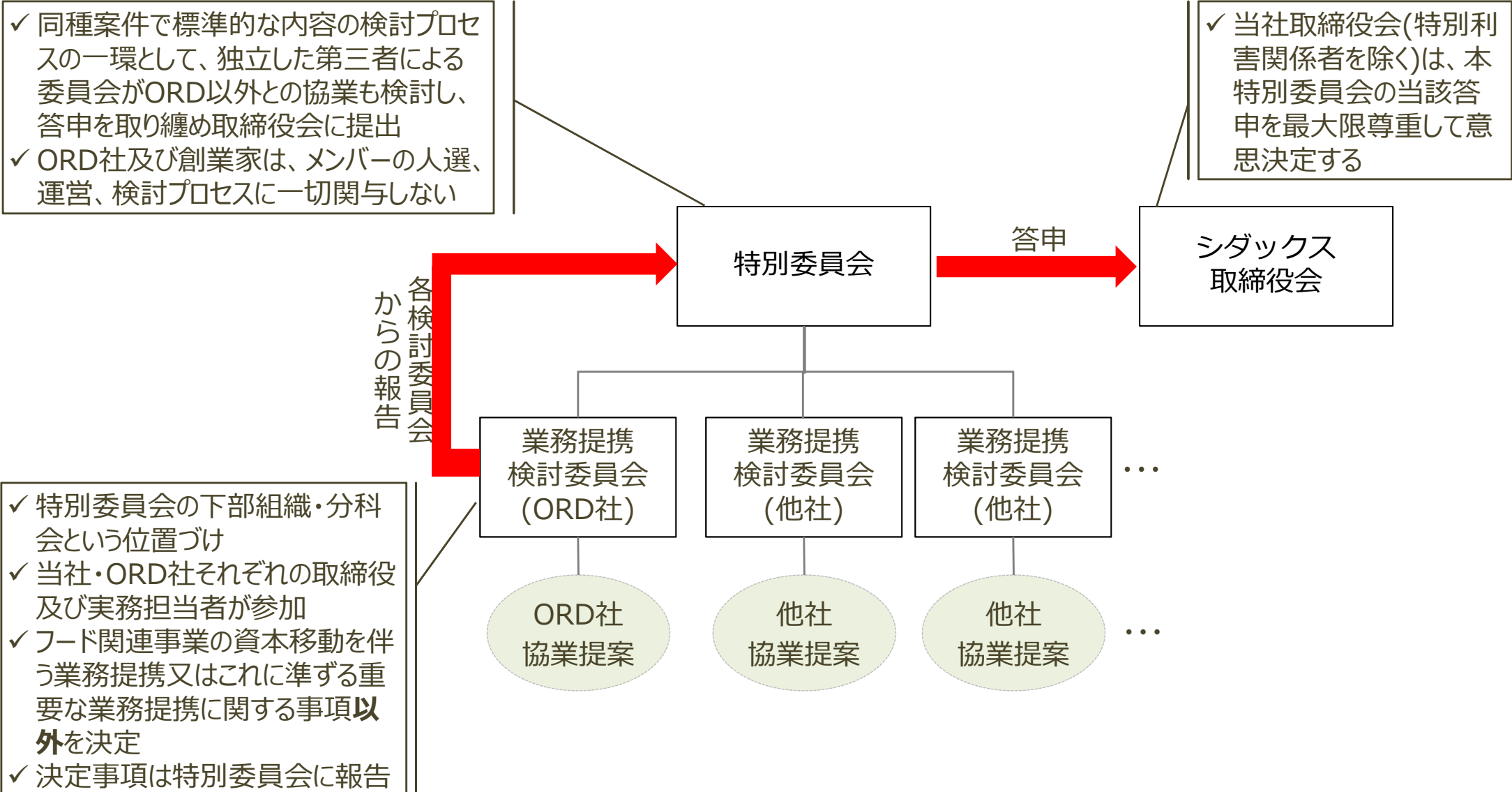
(ii) 協業の一環としてフード関連事業子会社の株式を売却することが当社の企業価値向上に資するといえるか

(iii) フード関連事業子会社の株式を売却する場合には、いずれの候補先に売却することが当社の企業価値向上に最も資するものであるか

 検討の結果、いずれの候補先とも協業せず、単独でフード事業を営んで行くことを選択する可能性も

フード関連事業の協業に係わる公正な検討の枠組み

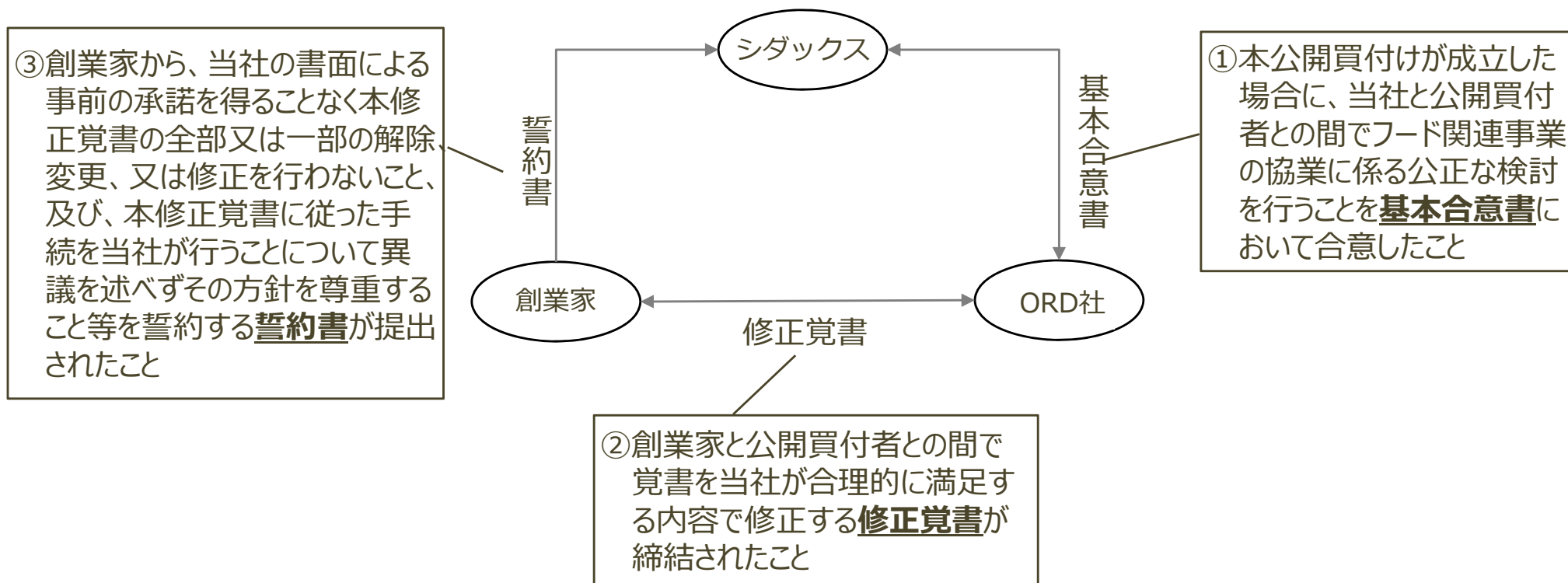
協議の結果、同種案件で標準的な内容の検討プロセス(フィナンシャル・アドバイザーの起用、特別委員会の設置)を通じて、ORD以外との協業も広く検討、資本の移動を伴わない協業は特別委員会傘下の業務提携検討委員会で検討することで合意しました



中立に変更する理由

当社・ORD・創業家間の「基本合意書」・「修正覚書」・「誓約書」により、フード関連事業の協業の公正な検討を行う枠組みが、客観的かつ制度的に担保し得ると判断しました

当社・ORD・創業家間の基本合意書・修正覚書・誓約書の関係



👉 上記のように、公正な検討のための枠組みは整備されたものの、現時点でORD社から協業に係わる具体的な提案を頂けていないため、ORD社と当社のフード関連事業に関わる業務提携が当社の企業価値向上に資するものか、本公開買付けに先んじて検討できないことから、「賛同」ではなく「中立」への意見変更にとどまった

今後について

本公開買付け後、特別委員会でORD以外との協業も広く検討しつつ、分科会の業務提携検討委員会ではORDとの資本の移動を伴わない協業を積極的に検討して参ります

- 独立した**特別委員会**により、フード関連事業の協業の公正な検討のため、同種案件で標準的な内容の検討プロセスで**ORD以外との協業の可能性も広く検討**して行きます
- 並行して、特別委員会の分科会として設置する**ORDとの業務提携検討委員会**の場で、**同社との資本の移動を伴わない協業を積極的に検討**して参ります

SHIDAX 
未来の子供たちのために